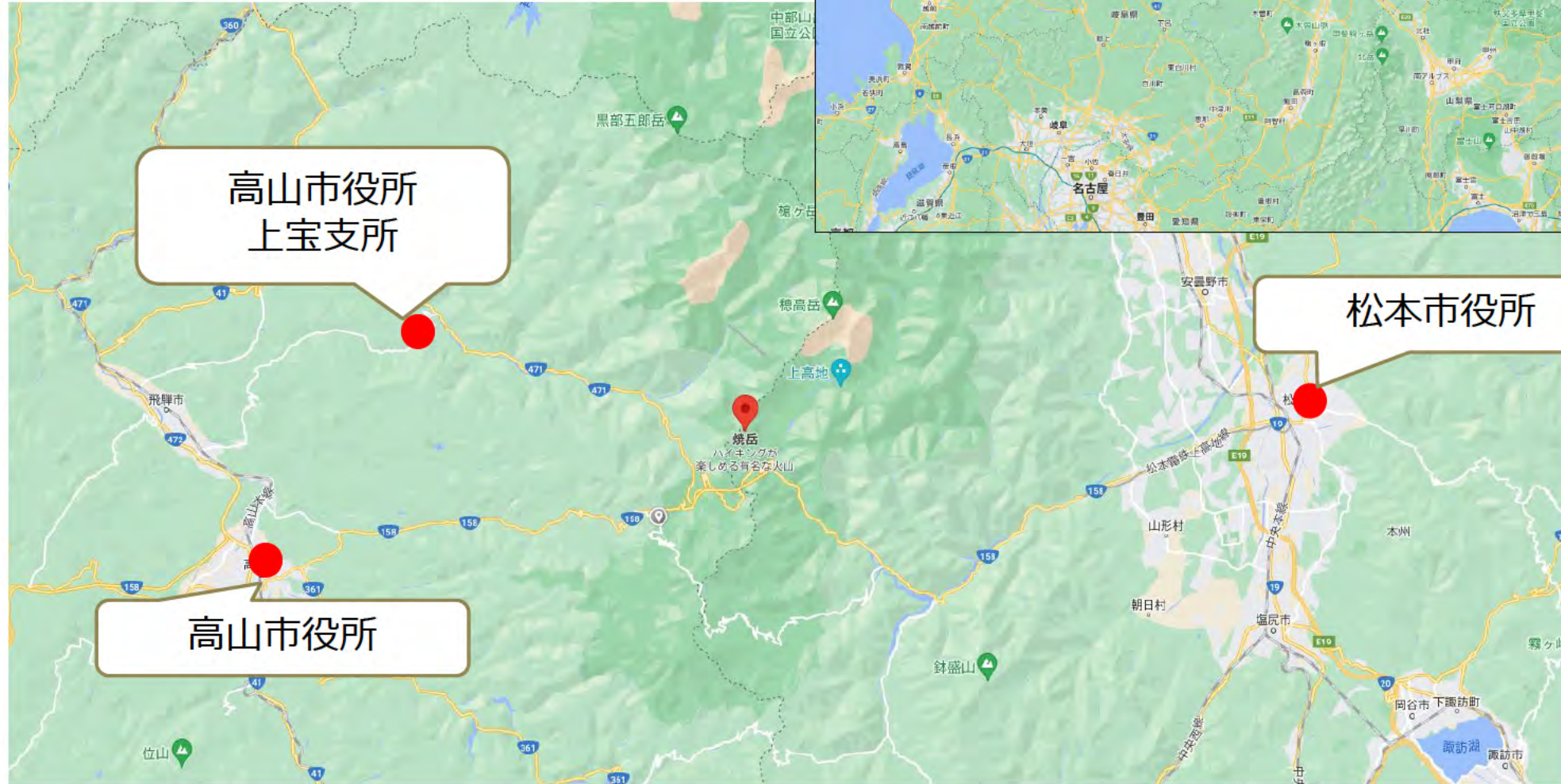
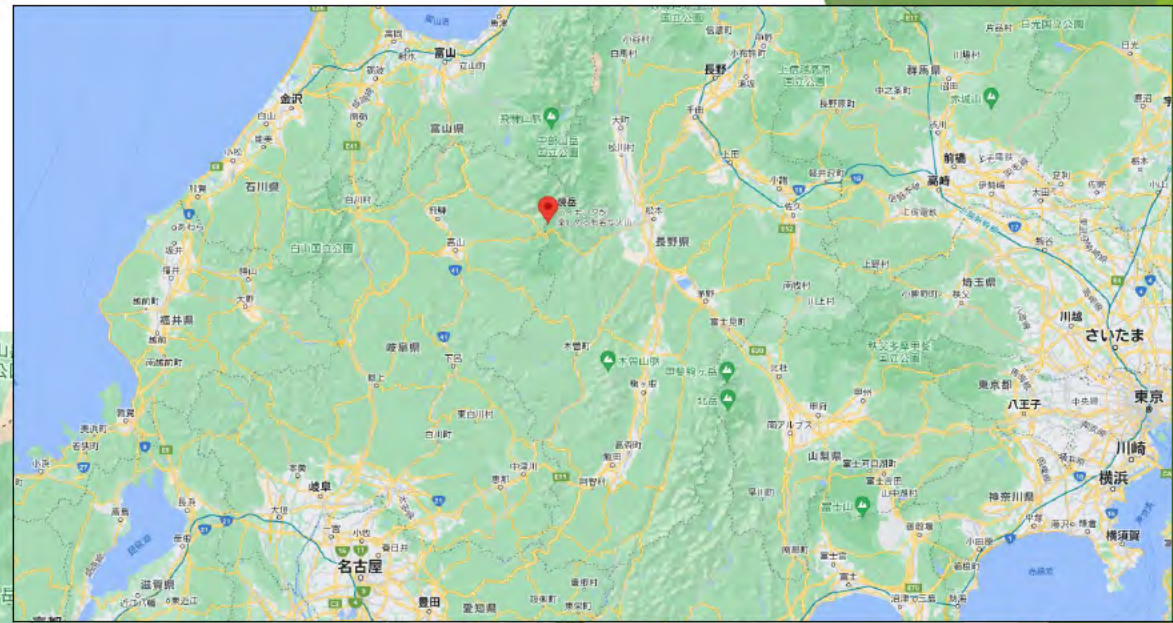


焼岳の噴火警戒レベル引上げ時の対応について



岐阜県飛騨県事務所 防災担当係長 木全

焼岳の位置



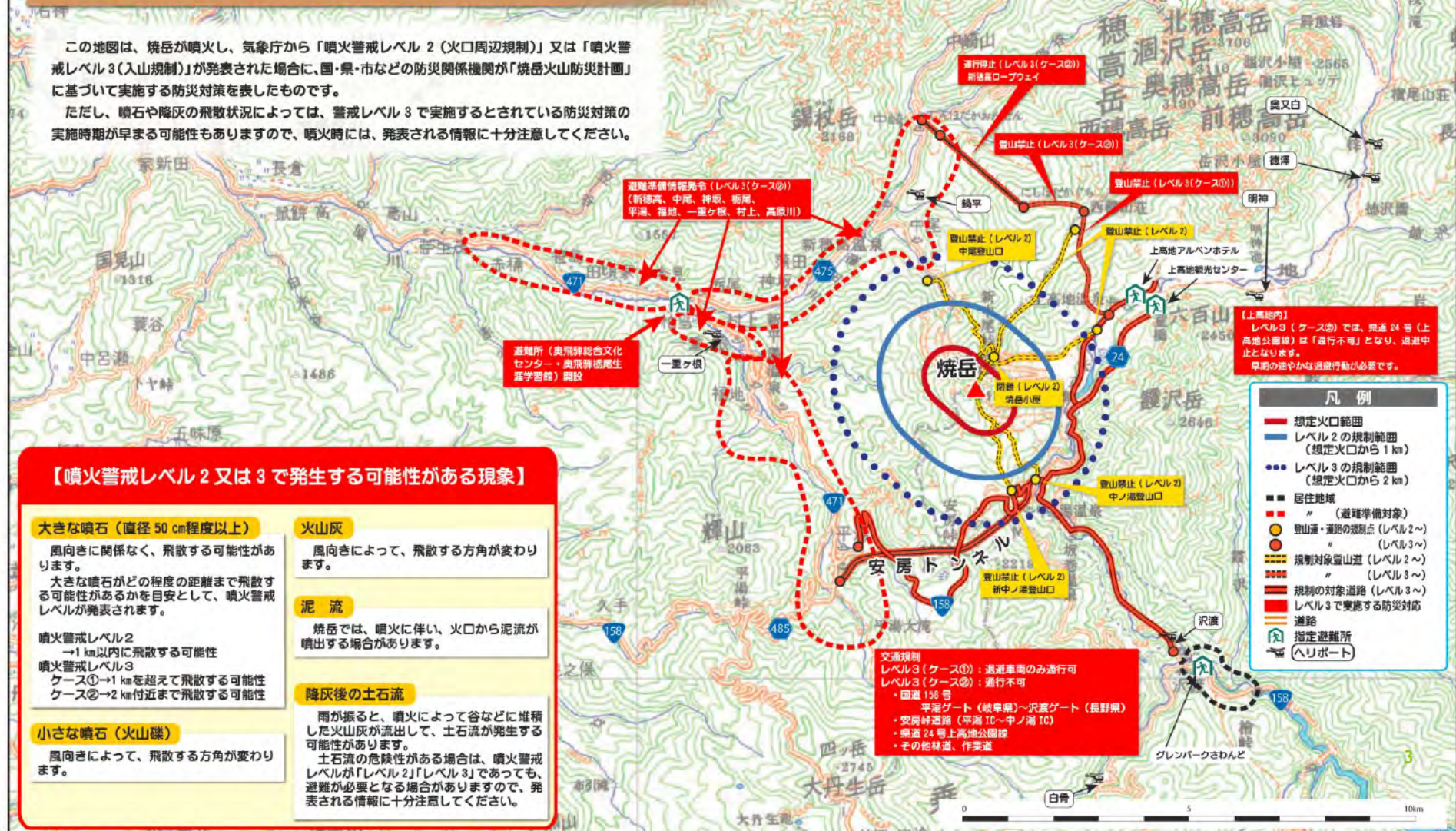
焼岳火山防災基本図

噴火警戒レベル2・3の場合

この地図は、焼岳が噴火し、気象庁から「噴火警戒レベル2（火口周辺規制）」又は「噴火警戒レベル3（入山規制）」が発表された場合に、国・県・市などの防災関係機関が「焼岳火山防災計画」に基づいて実施する防災対策を表したものです。

ただし、噴石や降灰の飛散状況によっては、警戒レベル3で実施するとされている防災対策の実施時期が早まる可能性もありますので、噴火時には、発表される情報に十分注意してください。

【北アルプス方面への入山】
 <岐阜県側>
 レベル3発表の場合、新穂高入山口（全方面）・笠ヶ岳入山口からの入山については、噴火の状況を見ながら全面的に規制を行う可能性があります。
 <長野県側>
 レベル3発表の場合、道路規制が開始され上高地内からの入山はできません。
 【北アルプス方面からの下山】
 レベル3発表の場合、麓では噴火の状況により全面規制が行われるため、特に登山客の方は別ルートでの下山の検討が必要となります。



【噴火警戒レベル2又は3で発生する可能性がある現象】

大きな噴石（直径50cm程度以上）
 風向きに関係なく、飛散する可能性があります。
 大きな噴石がどの程度の距離まで飛散する可能性があるかを目安として、噴火警戒レベルが発表されます。

火山灰
 風向きによって、飛散する方向が変わります。

泥流
 焼岳では、噴火に伴い、火口から泥流が噴出する場合があります。

降灰後の土石流
 雨が振ると、噴火によって谷などに堆積した火山灰が流出して、土石流が発生する可能性があります。
 土石流の危険性がある場合は、噴火警戒レベルが「レベル2」「レベル3」であっても、避難が必要となる場合がありますので、発表される情報に十分注意してください。

噴火警戒レベル2
 →1km以内に飛散する可能性

噴火警戒レベル3
 ケース①→1kmを超えて飛散する可能性
 ケース②→2km付近まで飛散する可能性

小さな噴石（火山礫）
 風向きによって、飛散する方向が変わります。

凡例

- 想定火口範囲
- レベル2の規制範囲（想定火口から1km）
- ... レベル3の規制範囲（想定火口から2km）
- 居住地域
- (避難準備対象)
- 登山道・道路の規制点（レベル2～）
- (レベル3～)
- 規制対象登山道（レベル2～）
- (レベル3～)
- 規制の対象道路（レベル3～）
- レベル3で実施する防災対応
- 道路
- 指定避難所
- ヘリポート

交通規制
 レベル3（ケース①）：週遊車のみ通行可
 レベル3（ケース②）：通行不可
 ・国道158号
 平湯ゲート（岐阜県）～沢渡ゲート（長野県）
 ・安曇峠道路（平湯10～中ノ湯10）
 ・奥湯24号上高地公園環状
 ・その他林道、作業道

当日の対応について（レベル引上げ前）

<5月24日>

24日未明 23日23時以降、焼岳山頂付近を震源とする地震が急増

→気象台から、地震回数の増加に伴い、火山解説情報（臨時）の発表を検討しているとの連絡

→県警に情報提供、県庁、市と情報共有

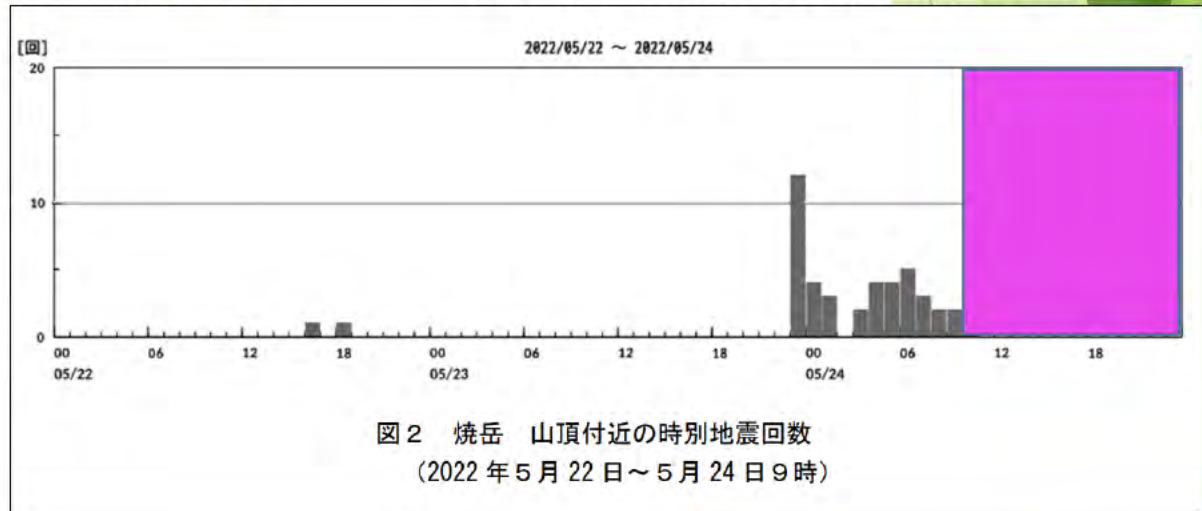
→火山解説情報（臨時）発表前に、気象台から事前連絡

6:35 火山の状況に関する解説情報（臨時）発表

9:30 噴火警報 発表（噴火警戒レベル1 → 2 に引上げ）

→火山防災協議会事務局会議開催（両県の市、県、地方事務所、気象台）

R4.5.24 「焼岳の火山活動解説資料」より



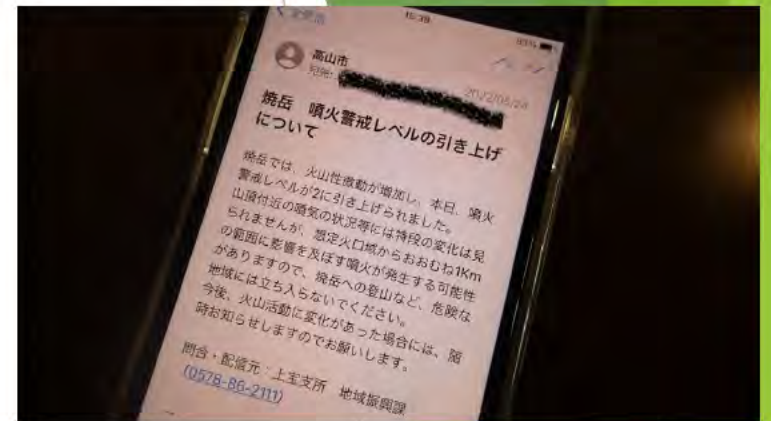
当日の対応について（レベル引上げ後）

<施設の閉鎖・登山道の規制>

- ・ 焼岳小屋（松本市営）はまだ開業していなかったため対応不要
- ・ 登山口に規制看板設置（5/24 ※西穂山荘口の規制看板は5/25）
- ・ 県警ヘリで上空から登山者に下山のアナウンス（5/24）
- ・ 松本市、松本地域振興局が登山口で啓発（5/24）

<その他の啓発>

- ・ 地元住民（町内会、観光協会、まちづくり協議会、ジオパーク事務局等）に連絡（5/24）
- ・ 山小屋関係者への周知（5/24）
- ・ 高速道路料金所トイレ、国道の情報板、バスターミナル、道の駅等への掲示（5/24～）
- ・ 県、市、県警のHPへの掲載やSNSでの啓発、防災無線での周知（5/24）
- ・ 地元意見交換会・地元説明会（6/1 長野 6/6岐阜）



高山市の一斉メール



松本市の登山規制看板

良かった点・課題

<良かった点>

- ・全体としては、噴火警戒レベル導入後初めてのレベル引上げだったが、特に混乱することなく、火山防災避難計画に基づき対応できた。
- ・県警ヘリによる登山者への呼びかけが有効だった（これにより30人くらいが下山）

<今後の課題>

- ・情報共有のタイミング（5/24 9:30及び16:00に事務局会議）
- ・ヘリが飛べない状況での登山客への周知
- ・引下げ後の登山道の規制緩和のタイミング
- ・他県からの登山者への周知